

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷一第

論說

●米價ノ騰落ト其調節ニ就テ(一)

法學博士 戸田 海市

●穀物倉庫論

助教授 河田 嗣郎

●貧富問題(三、完)

法學博士 田島 錦治

雜錄

●大藏省證券ニ就テ尾上學士ニ應フ

法學博士 小川 郷太郎

●南洋新占領地研究ノ二

助教授 山本 美越乃

●保險學說ノ發展(一)

法學士 小島 昌太郎

雜報

●經濟的進化ト人口法則(二、完)

講師 米田 庄太郎

●最近ノ金融問題(一)

講師 谷村 一太郎

●廣告稅ト廣告官營

法學博士 神戶 正雄

●戰爭ト英國ノ貿易

助教授 河田 嗣郎

●社會政策學會第九回大會記事

講師 高田 保馬

●京都法學會大會記事

雜報

經濟的進化ト人口法則(三、完)

講 師 米田庄太郎

(一)人口ノ増加、富ノ増進、工業化ノ發達、及ビ國外
移住ノ減退

(二)人口法則ノ概念トベクかりあノ先見

(三)人口法則ノ動的概念ト最近ノ科學及ビ哲學

(四)征服的のねるぎノ原理ト經濟的社會及ビ人口論

(五)獨逸ノ發達ト日下ノ大戰亂

(六)征服的のねるぎノ原理ト經濟的社會及ビ人口論

前々號既載

本號所載

夫レ有機體ノ生活ヲ支配スル根本原理ノ如何ナルモノデアルカハ、前節ニ於テ論述シタガ、今同一ノ原理ガ社會ニ於ケル人類ヲモヤハリ根本的ニ支配シテ居ルノデアル。否ナ吾人ハ實ニ人間ニ於テ外界ノ影響ニ對スル反動ノ最高度ノ發現、隨フテ又自然的或ハ社會的環境ヲ支配セントスル傾向ノ最高度ノ發現ヲ發見スルノデア
ル。併シ此ノ反動ハ一定ノ社會團體ヲ組織スル總テノ箇人ニ於テ同等ノ度合ニ於テ行ハルルモ

ノデナイ。或箇人ニアリテハ反動ノ力ハ外界ノ影響ヨリモヨリ小ニシテ或箇人ニアリテハ之レト同等、而シテ或箇人ニアリテハ之ヨリモヨリ大デアル。是レ各箇人ノ有スル内部的のねるぎ
ノ大小如何ニヨリテ決定セラルルモノデア
ル。

多數ノ場合ニ於テハ反動ノ殘餘ハ殆ンド存在シナイ。サレバ民衆、群衆ハ全體ニ於テ常ニ保存保守及ビ持續ノ原理ヲ表現スルノデアル。之レニ反シテ或箇人ニアリテハ、其ノ箇人ノ有スル征服的内部的のねるぎノ甚ダ大ナルガ爲メニ、反動ハ非常ニ強烈ナル勢ヲ以テ行ハレル。而シテ此ノ如ク自然ヨリ特權ヲ授カレル人ハ、彼ヲ他ノ社會員ヨリ明白ニ區別スル一定ノ特性ヲ具有スル。カカル人コソ其ノ社會其境遇ヲ征服スル人、即チ偉人デアル、征服者デアル。今若シ民衆、群衆ヲ以テ保存及ビ持續ノ原理ヲ表現スルモノトスレバ偉人、征服者ハ變易ノ原理ヲ表現スルモノデアル。生レツキ特殊ナル印ヲ押サレ、他人ト同化サレナイ、己レ自身特有

デアル此ノ箇人ハ、歴史上或ハそくらてすと呼
バレ、或ハがりれおと呼バレ、或ハかんどト名
ヅケラレテ居ルノデアル。

上述ノ根本的諸原理ハ又經濟的諸社會ヲ支配
シテ居ル。余輩ハ茲ニ單 經濟社會或ハ經濟的
社會ト云ハズシテ、特 經濟的諸社會ト云フテ
居ルノハ、是レ余輩ハ現實ニ存在シ得ナイ物ヲ
研究セント、無益ニ力ヲ費スコトヲ欲シナイカ
ラデアル。吾ハ若シ具體的ナ 事實ニ對シテ、
何等カノ意義ヲ有スル推理ニ試ミントスレバ何
ヨリモ第一ニ事實ヨリ出發ス 様ニ心掛ケネバ
ナラス。吾人若シ總テ經濟的均衡ハ趣味ト障
トノ作用ヨリ成立スルモノデアルト云ハンカ、
是レ形式的ニハ眞實 思想デアル、眞理デア
ル。併シ實際ニ就テ此ノ作用ヲ吟味シテ見ルト、
此作用ハ經濟的社會ノ異ナルニツレテ種々様々
ニ異ナツテ居ルコトヲ發見スルノデアル。趣味
ハ先ヅ生活ノ實質ニ依屬シテ定マリ、次ニ生活
ノ實質ハ生産能力ニ依屬シテ定マリ、而シテ生
産能力ハ國民特有ノ人口的、心理的及ビ歴史的

因素ニ依屬シテ定マルノデアル。障碍ニ就テキ
同ジ事デ、社會ニヨリテ種々ニ異ナツテ居ル。而
シテ又障碍ヲ壓倒シ打破スル力ハ、征服的内部的
にねるぎ一ニ依屬シテ定マリ、其ノにねるぎ一
ハ經濟的社會 異ナルニ從フテ異ナツテ居ル。
此クテ各經濟的社會ニ於テ夫レ夫レ特殊ノ均
衡、即チ趣味ト缺乏トノ間、障碍ト之レニ打テ勝
ツテ缺乏ヲ充足センガ爲メニ展開スル力トノ間
ニ特殊ナル關係ガ成立スルノデアル。而シテ此
關係、此均衡ハ國民經濟的社會ノ異ナルニツレ
テ種々ニ異ナルノデアル、要スルニ諸國民ハ夫
レ夫レ異ナレル經濟的單位、或ハ他ノ方面ヨリ
見レバ精神的單位ヲナスモノデアル。

サレバ人口法則モ亦國民經濟的社會ニ結ビ付
ケテ考察セラル可キモノデアル。此點ヲヨク理
解シテ置クコトハ甚ダ肝要デアル。ト云フノハ
人類全體ニ就テ考フル場合ノ如ク、單一ナル封
鎖的組織ニ於テ人口法則ヲ立テントスルノト、
國民ニ就テ考ヘル場合ノ如ク開放的組織ニ於テ
之ヲ立テントスルノトハ大ニ異ナレルモノデア

ルカラデアル。サレバ余輩ハ遺憾ナガラ此ノ點ニ於テハ人口論ノ大家おつと、²²つふゐるつ氏ト見解ヲ異ニセザルヲ得ナイ。是レ生キタ現實ノ事實ニ基ヅイテ論歩ヲ進メントスルモノニトリテハ已ヲ得ナイ事デアル。同氏ノ云ハルルニハ、「論理ノ教ユル處ニヨレバ、吾人ハ各經濟的研究チ一ノ封鎖的領域ニ於テ始ムルコトが必要デアル。只此ノ研究チ了リタル後ニ於テノミ、吾人ハ外國貿易ノ影響ヲ引キ入レテ正當ニ考究スルコトが出来ルノデアル。是レ物理學者ノ研究法ニ從ヘルモノニシテ、物理學者ガ一ノ新法則ヲ發見セントスルニ當テハ、常ニ一ノ孤立セル封鎖的世界、一ノ宇宙、一ノ大宇宙ヲ想定シテ始メル。而シテ餘程後ニ至ツテ始メテ、孤立シナイ世界、小宇宙ヲ研究スルノデアル。」

併シ物理學者ガ其ノ法則ヲ發見セン爲メニ用エル方法ハ、物理學ノ現象ニ對シテハ正當デアツテモ、社會學ノ現象ニ對シテハ必ズシモ正當デアルトハ云ハレナイ。今摩擦ノ法則ヲ捨象スルコトハ摩擦ガ決定的意義ヲ有シナイ世界ニ於テハ正當デアリ得ル。併シ摩擦ト其ノ反動ガ現象ノ方向其物ヲ決定スル世界即チ人類社會ニ於テ摩擦ノ法則、詳シク云ヘバ環境ト人トノ相互

の影響ヲ捨象スルハ、是レ生活ノ本然的條件ヲ捨象スルコトトナルノデ、現實ノ地盤ヲ離レマイトスル社會研究者ノ首肯シ難キコトデア

ル。余輩ハ以上述ベシ諸點ヲ念頭ニ於テ、之レヨリ環境ニ對スル國民經濟的社會ノ反動ハ如何ナル形態ヲトルカラ考究セントスルノデアルガ、今種々ナル國民經濟的社會ガ自然的環境ノ作用ニ反動スル様式ハ、即チ勞動デアル。而シテ經濟的社會ガ環境征服ノ爲メニ常ニ愈々強ク反動スルコトニヨリテ勞動ハ愈々發達シ、完成シテ行クノデアル。尙ホ少シ詳シク此點ヲ論述シテ置キタイト思フガ、抑々經濟的社會ガ環境ノ作用ニ應ジテ起ス反動ハ、其作用ヨリモヨリ小ナルコトモ、又之レト同等ナルコトモ、又之ヨリモヨリ大ナルコトモアリ得ル。而シテ第二ノ場合ニ於テハ安定的均衡ガ成立スルノデアル。併シ嚴密ニ云ハバ、安定的均衡ナルモノハ實際上存在シナイ。實際上ニ於テハ常ニ多少ノ錯行カアル。カノ魚類、獸類、菓實等ニヨリテ生活スル

社會ハ歷史上ニ數多存在シ又現在ニモ存在スルカ、此等ノ社會ノ環境ニ對スル反動ハ環境ノ包藏スル處ノモノヲ採集スルコトニ於テ全ク盡キテ居ル。而シテ若シ此等ノ社會ガ封鎖的社會ヲナシ、環境ガ常ニ食物ノ同ジ分量ヲ包藏シテ居ルナラバ、均衡ハ無定限ニ持續スルデアラウ。此クテ人口曲線ハ時間ノ軸ニ平行スル直線ヲ畫クデアラウ。併シ若シ何等カノ原因ガ現ハレテ其關係ヲ擾亂シ、若シ環境ハ最早生活資料ノ同ジ分量ヲ與ヘナクナリ、若シ人口ガ増加シ、或ハ近隣ノ種族ガ競争ヲ挑ムニ至ランニハ、茲ニ社會ハ其反動ヲ變更スル必要ニ迫ラレテクル。即チ狩獵或ハ漁捕ノ方法ヲ完成スルカ、又ハ他ノ生活方法ヲ求メネバナラナクナル。而シテ其等ノ社會ノ中ニハ、生來大ナル征服的のねるぎ一ヲ具有シテ居レテ、此ノ場合ニ強大ナル反動ヲナシ得ルモノガアレバ、又生來征服的のねるぎ一ノ弱少ナルガ爲メニ適當ニ反動ヲ變更スルコトノ出來ナイモノモアル。ソレデ後者ハ茲ニ衰退ヲ始メ、或ハ全ク滅亡スル。之レニ反シテ前者

ハ自カラ進化シテ牧畜社會トナリ、後ニハ更ニ進化シテ農業社會トナル。

牧畜社會モ尙ホ主トシテ封鎖的ノモノデアアル蓋シ此社會モ主トシテ其ノ環境ノ富源ニ依屬シテ生活スル傾向ヲ有スルカラデアアル。併シ牧畜社會ハ最早全然封鎖的ノモノデナイ。彼等ト近隣ノ社會トノ間ニ自カラ一定ノ交易運動ガ發生シ、夫ヨリシテ又在來ノ關係ガ自カラ變動シテクル。サレド若シ他ノ要素即チ征服的衝動ノ影響ガ加ハリ、破壊的原因ニ打チ勝ツテ人口ノ増加ヲ促カスコトナクハ、彼等ノ狀態ハ其儘無限ニ持續サレルデアラウ。一方ニ於テハ環境ノ破壊的作用ニ迫ラレ、他方ニ於テハ征服的内部的衝動ガ働キ、茲ニ破壊的作用ニ對スル征服的衝動ガ起ツテクル。而シテ此ノ反動ガ發達スルニ於テハ、其ハ經濟技術的或ハ制度ノ轉化、即チ牧畜的ヨリ農業的ヘノ化成一ヲ發達スルノデアアル。此轉化ニヨリテ人口ハ一層増加シ、社會團體ハ一層發達スルコトガ出來ル。併シ若シ此反動ガ發達シナイ場合ニハ其經濟的社會ハ滅亡スル

ノデアル。詳シク云、ハ其ノ一部分ハ移住スルカ、又ハ他ノ社會團體(環境ニ吸收サレテ仕舞フノデアル。

農業のナル經濟的社會ハ牧畜的ナルモノヨリモ更ニ一層開的デアル。故ニ其ノ組成要素(人口)ト生活資料(生産)トノ關係ハ更ニ一層強ク變動シテクル。此等ノ社會ハヤハリ同一ノ二原因、即チ破壊的勢力ニ打チ勝ツテ生命ヲ増サントスル生命ノ原本的衝動ト外部ノ社會團體ノ影響トニヨリテ變動シテ行ク。但シ後者ハ前者ヨリモ一層強ク働クノデアル。農業的ナル經濟的社會ハ啻ニ自己ノ營養ニ必要ナル分量ヲ生産スルダケデナク、他ノ經濟的社會ト交易スル爲メニ餘剩ノ分量ヲモ生産スルト云フガ如キ方法ニテ環境ノ作用ノ影響ニ反動スルコトカ出來ル。故ニ此等ノ社會ハ餘剩ノ分量ヲ漸次ニ増大シツツ、愈々開放的ナル組織ニ化成スルコトカ出來ルノデアル。而シテ此等ノ社會ハ餘剩生産ノ利益ヲ收メ、商業的餘剩價值ヲ獲得シツツ大ニ富ンデ行クノデアル。此種ノ反動ノ尤トモ、全

ル形態ハ農業ノ工業化ニ於テ見ラレルノデアル。總テノ農業的ナル經濟的社會ハ上述ノ如キ強大ナル反動ヲナスニ充分ナル征服的にねるぎヲ自カラ具有シテ居ツタトカ又ハ具有シテ居ルト云フノデハナイ。羅馬ノ經濟的社會ハ、本來農業ヲ基礎トシテ立アルモノデアルガ「ラチフンデア」ヲ轉化スル様ニ反動スル力ヲ具ヘテ居ラナカツタ、而シテ滅亡シタ。又ししりあノ經濟的社會ハ「ラチフンデア」ヲ轉化シ、其ノ耕作ヲ工業化スルニ必要ナル征服的的反動ヲ起ス力ヲ具ヘテ居ラナイ、此クテ其ノ人口ノ一部分ヲ外國ニ移住セチバナラスト云ノ意味ニ於テ其ノ經濟的社會ハ滅亡シツツアルノデアル。又愛蘭土ノ經濟的社會ハ永ラクノ間征服反動ヲ自カラ起スコトガ出來ナカツタ、此クテ永ラクノ間滅亡シテ居ツタ、而シテ今日該經濟的社會ヲシテ自カラ其ノ反動ヲ起ス狀態ニ進マシムル爲メニ、外來の要素立法ノ力ヲ借ルコトガ必要デアツタノデアル。

農業的ナル經濟的社會ニ於テ、外國貿易ノ爲

メニ殘存スル生産ノ分量ハ、無制限ニ増加サルルコトハ出來ナイ。蓋シカカル増加ハ其ノ社會ノ左右スル土地ノ自然的制限ニ於テ打破シ難キ障礙ニ遭遇スルカラデアアル。故ニ其社會ノ征服の反動ハカカル制限ヨリ全ク獨立シテ發達シ得ル反動ト同等ノ強サニ達スルコトハ出來ナイ。而シテ出來ルダケ強大ナル反動ノ發達シ得ル社會ハ工業的ナル經濟的社會デアアル。國民經濟的社會ハ工業ニヨリテ甚ダ開放的ナル體系ニ化成スルノデアアル。是レ此等ノ社會ハ餘剩財貨ノ分量ヲ殆ンド無制限ニ増加シ得ルカラデアアル。而シテ此等ノ社會ハ甚ダ開放的ナル組織ニ化成スルコトニヨリテ大ニ自己ノ利益ヲ増進スルノデアアル。蓋シ牧畜社會ハ外部的環境ノ影響ヤ近隣社會ノ影響ニ對シテ受働的ニ服従スルガ、工業的社會ハ全世界ノ經濟的社會ヲ自己ノ影響、自己ノ生産及ビ自己ノ征服的にねぐるぎノ影響ニ服従セシムルカラデアアル。サレバ征服的にねぐるぎノ活動ハ工業的社會ニ於テ其ノ強サノ最高度ニ達シ、此等ノ社會ハ單一富ミ榮ヘ行クト云

フダケデナク、更ニ迅速ニ富ミ榮ヘ行クトデアアル。蓋シ彼等ハ餘剩財貨ノ巨大ナル分量ヲ生産シ、商業的餘剩價値ノ最大ナル分量ヲ收得スルカラデアアル。

以上述ベシ次第ニテ、破壊的勢力ニ打テ勝ツテ生命ヲ増サントスル生命ノ原本的衝動ニ依屬スル人口ノ増加ハ、強大ナル生産的衝動ヲ惹起シ、此ノ強大ナル生産的衝動ハ又人口ノ増加ニ比例スル以上ニ經濟的社會ノ富ヲ増進スルコトヲ意味シ、而シテ此ノ廣大ナル富ヲ増進ハ更ニ人口ノ増加ヲ可能ナラシムルノデアアル。是レベクかりあノ云ヒシ如ク、人口ト生産トノ間ニ於ケル一ノ永久的律動デアアル、永久ナル勝利交代デアアル。國民經濟的社會ハ各々其ノ發達サスコトノ出來ル勞動ノ總額ニヨリテ相互ニ他ヨリ區別セラレルノデアアルガ、此ノ勞動ナルモノハツマリ社會ガ環境ノ作用及ビ人口變動ノ作用ニ對シテ自カラ起シ得ル反動デアアル。而シテ此ノ反動ヲ尤トモ強烈ナル様式ニ於テ發展スル社會ガ即チ優勝ナル社會デアアル。此ノ尤トモ強烈ナル

様式トハ即チ尤トモ強烈ナル工業化ノ事デアツテ之レニヨリテ人口ト生産トノ間ノ相互的勝利ノ過程ハ反動即チ生産ノ效果ヲ大ニ増加セシムルノデアアル。詳シク云ヘバ強烈ナル工業化ニヨリテ國民經濟的社會ハ迅速ニ富ヲ増進セシメ、又畜ニ其所屬員ヲシテ其ノ内ニ生活スルヲ得セシメ、國外移住ノ必要ヲ絶滅セシメ、死亡率ヲ大ニ減少セシムルノミナラズ、更ニ人口ヲシテ益々迅速ニ増加セシメルノデアアル。

余ハサキニモ述ベシ如ク、本論文ニ於テハ人口ノ一新理論ヲ建設セントスルノデナク、只之レガ建設ニ役立ツ或要素ヲ呈供セントスルニ過ギナイノデアアル。是レ新ズニ人口理論ヲ建設スルニハ、多大ナル歸納的證明ヲ必要トスルガ、余ハ未ダ之ヲ試ミル域ニ達シテ居ラナイカラデアアル。併シ兎ニ角以上述べ來リシコトニヨリテ新ラタニ建設セラル可キ人口理論ハ重労働主義的ポロクラチア及ビ動的ノモノデナケレバナラヌコトハ明ラカデアアル。モツトモ重労働主義ノ人口論ハ労働ヲ極力重要視スル社會主義論者ノ既ニ

企ダテテ居ルモノデアアル。併シ彼等ノ所説ハ、一方ニ於テハ労働ヲ只労働者ノ労働ノミニ限リテ解スルニ於テ偏局デアリ、他方ニ於テハ靜的デアアルコトニ於テ不完全デアアル。余輩ハ之レト異リテ労働ヲ單ニ労働者ノ労働ノミニ限リテ觀念セントスルノデナク、國民全體ノ労働ヲ意味スル、隨フテ其中ニハ企業家ノ労働モ科學者ノ労働モ悉ク含マセルノデアアル。又靜的デハナク動的デアアル可キコトヲ主張スルノデアアル。而シテ此等ノ點ニ於テ余輩ノ人口論ハ又まるさすノ人口論トモ異ナツテクルノデアアル。

まるさすノ人口論ハ先ヅ重農主義的デアアル。蓋シ彼ハ人口因素ヲ土地因素ニ相關セシメテ立説シテ居ルカラデアアル。次ニ彼ノ人口論ハ又靜的デアアル。彼ノ説ハあだむ、すみすノ賃銀論ヨリ生來シ、りかゝるどノ地代論ニ於テ新シキ支柱ヲ得タノデアアルガ、此等ノ兩説ハ共ニ著シク靜的ノモノデアアルノデアアル。而シテ著シク靜的ナルまるさすノ人口論ガ、著シク動的ナル可キ自然淘汰説、進化説ノ根柢ニ置カレテ居ルノヲ見

ルハ實ニ奇怪デアル。環境ニ對スル受動的適應ヲ含意スル從來ノ自然淘汰ノ觀念ハ進歩的運動、即チ近代ノ研究ノ證明セルガ如ク生物形態ガ常ニ益々高等ナル階段ニ進化シ行クコトヲ到底満足ニ説明スルコトハ出來ナイ。新シキ形態ノ創造ハ能動的或ハ征服的適應、即チ箇體ガ其ノ内部の力ノ基本ヨリ起ス處ノ環境ニ對スル大ナル反動ヲ認メルニアラズハ説明スルコトハ出來ナイ。進化ハ眞ニ動的ナル一原理、即チ征服的にねるぎ一ノ原理ヲ設定スルニ非ラズハ説明シ得ラルルモノデナイ。サレバ此原理ニ基ツイテ立テラレタル人口論ハ生命及ビ世界ノ進化ノ原理其物ノ上ニ立ツモノニシテ尤トモ深奥ナル人口論デアル可キモノデアル。

(五)獨逸ノ發達ト目下ノ大戰亂

却説是レマデ論ジ來リシ處ニヨリテ考フレバ國富ガ人口ヨリモ一層迅速ニ増加シ、而シテ人口ノ増加ト外國移住ノ消滅トカ相伴ナフテ現ハレテ居ル獨逸ノ狀態ハ、決シテ特異ナル孤立的場合デハナクシテ、一ノ廣大ナル法則ノ一ノ特

殊の方面デアルコトハ明ラカニ理解サレルノデアル。獨逸ノ經濟的社會ハ、其ノ特殊ナル性質ニヨツテ、動(人口ノ増加)ヨリ遙カニ勝レタル反動(生産)ヲ、其ノ征服的にねるぎ一ノ原本的基本ヨリ引キ起スコトガ出來ル狀態ニアルノデアル。是レ反動ガ動ヨリモ大ニ勝レテ居ル所以デアル。云フマデモナク此反動ハ多數ノ因素ノ合成果デアル。而シテ其等ノ因素中、國民ノ健康ノ勝レタルコト、勞働ニ對スル抵抗力ノ強イコト、組織及ビ訓練ノ力、技術的及ビ經濟的教育等ハ尤トモ主要ナルモノデアル。吾人ハ此等ノ因素ニヨリテ起ル此ノ反動ヲ簡單ニ「強烈ナル工業化」ト稱スルコトガ出來ル。

併シ茲ニ重大ナル一問題ガ起ツテケル。若シ獨逸ガ近來其ノ人口現象ト經濟現象トノ間ニ上述ノ如キ壯大ナル調和的ナル律動ヲ產出シタトスレバ、是レ現今ノ獨逸ハ廣大ナル均衡ニ到達シテ居ルコトヲ意味スルノデアル。然ラバ今ヤ獨逸ハ何故ニ歷史上ノ最大戰爭ヲ挑發シテ自カラ其均衡ヲ破壞スル必要ヲ感ズルニ至ツタカ。

若シ獨逸カ今ヤ自力ヲ其均衡ヲ破壞スル必要ヲ感ジテ來タトスルナラバ、極言スレバ、其ノ勳的進行ノ中ニ深大ナル矛盾ト改造ノ原因ガ存在スルトスルナラバ、上ニ述ベシカノ律動ノ法則ハ眞理タルコトガ出來ナクナルデハナイカ。併シ余輩ノ考フル處ニヨレバ、實際ニ於テ今日ノ世界の大動亂ヲ正當ニ證明スル鍵ヲ與フルモノハ正シク此ノ律動ノ法則デアルノデアル。隨フテ又此ノ律動ノ法則ハ今日ノ大動亂ニヨリテ尤トモ明白ニ證明サレテ居ルノデアル。

夫レ經濟的政治、及ビ精神的現象ノ根底ニ人口の現象ガアル。人口ノ變動ハ各々ノ他ノ社會現象ニ發展スル地盤ヲナスモノ、社會的轉化ノ制約者デアル。サレバ今日ノ大動亂、尤トモ深大ナル內有的ナル原因ヲ研究セント欲スルモノガ、先ヅ第一ニ注目ス可キハ人口現象デアルノデアル。カノ今日ノ大動亂ノ原因ヲ君主又ハ政府ノ意思ニ歸セントスル箇人主義的説明ハ總テ絶對的ニ不充分デアル、今日ノ大動亂ハ國民ノ戰爭、人種ノ戰爭、文明ノ戰爭、「價值」ノ衝突デ

アル、思想及ビ行爲ノ新シキ指導原理ヲ決定セントスル奮闘、二ケノ相異ナレル人生觀及ビ世界觀ノ戰爭デアル。サレバ若シ充分ニ之ヲ説明センニハ、吾人ハ其ノ無數ノ因素ノ交錯ヲ社會學的ニ穿鑿セネバナラナイノデアル。而シテ此等無數ノ因素ノ合成果トシテ目下ノ大動亂ガ生起シタノデアルガ、併シ其中デ第一ノ原動力タルモノハ人口の因素デアル。

今人口の見地ヨリ戰亂前ニ於ケル歐洲均衡ノ狀態ヲ考察スルニ、其ハ奇妙ニト理論上靜的均衡ノ狀態ニ應ジテ居ルコトヲ見ルノデアル。即チ一方ニ於テハ人口増加率殆ンド零ニ近クマデ低下セル佛蘭西ト最大ノ増加力ヲ有スル露西亞トガ相組ミ合ハサレテ居リ、他方ニ於テハ何レモ相當ノ増加力ヲ有スル獨逸、澳太利及ビ伊太利ガ三國同盟ヲ成シテ相組ミ合ハサレテ居ル。サレバ人口の見地ヨリ見レバ右ノ二組ハ相平均シテ居ルノデアル。ふろつほ氏ハ其ノ將來ノ戰爭ニ關スル大著作一於テ「吾人ハ此等ノ事實ニ於テ均衡ヲ保持セントスル一ノ本能の勢力ヲ認メザルナ得ル

ハ、是レ水ノ平價ヲ保持スル法則ニ類似スル一種ノ辯學ノ法則ノ結果デアアルト云ハレテ居ル。サレバ理論上ニ於テハ此均衡ハ破壞サル可カラザルモノデアアル。而シテ若シ之ヲ破壞スル原因アルトスレバ、其ハ各國民特有ノ增加力ノ差異ニ隨フテ各國民ニ於テ發展スル動的過程ノ強サノ差異ニ存在セテバナラス。

余輩ハサキニ論述セルコトヲ茲ニ再ビ憶ヒ起ス必要カアル。夫レ動(人口ノ増加)ニ打テ勝チ得ル反動(生産)ヲ自カラ起シ得ル國民經濟的社會ハ富ミ榮ヘ行クノデアアル。併シ此ノ富ノ増進ハ相對的價值ノモノデアアル、即チ其ノ經濟的社會ノ價值ニ相對的ノモノデアアル。若シ其ノ經濟的社會ノ反動ガ他ノ社會ノ夫レヨリモ小ナル場合ニハ、之レニ對シテ其ノ富ノ増進ハ大ニ後レ、實際上貧國トナル。而シテ此ノ貧窮ハ眞實ナル人口過多トシテ表ハレテクル。主トシテ農業的ナル經濟組織ノ社會ハ即チ此ノ狀態ニアルノデアアル。土地ノ自然的制限ト生産能力ニ對スル制限ハ常ニ益々強大トナリ行ク征服的反動ノ實現

ニ對スル障壁トナル。サレバ此種ノ社會ハ、若シ其ノ増加スル人口ノ生活ノ必要及ビ安寧幸福ニ應ジテ自カラ化成スルコトガ出來ナイカ、或ハ假令化成スルコトガ出來テモ其化成ガアマリ徐々デアアルナラバ、均衡ヲ恢復スル爲メニ他ノ手段ニ訴ヘテバナラナイノデアアル。

希臘及ビ羅馬ノ社會ハ、正シク均衡ノ手段ヲ、征服即チ生産ノ領域ノ擴張ニ於テ求メテバナラヌ狀態ニアツタノデアアル。而シテ此ノ事ガ如何ニ眞實デアツタカハ、彼等ガ大征服ヲ成就スルヤ否ヤ人口ノ減少シ始メシコトヲ見テ明ラカデアアル。希臘ヨリ東方ヘノ大移住が始マリ、母國ノ人口ガ漸々減少シ行キ、ほりびおラシテ田舎人口ノ稀薄ヲ歎カシムルニ至ツタノハ、實ニあれずさんごろノ征服時代カラデアアル。羅馬ニアリテモ羅馬市ノ人口ガ減少シ始メタノハチえされノ時代ニ於テデアアル。要スルニ羅馬ノ農業的武力的社會ニアリテハ環境征服ノ過程ハ外國ノ征服ニ於テ實現シタノデアアル。而シテ此ノ一標本的ナル生産様式ガ羅馬ノ社會ヲ開放の組

織ニ於テ保持シ且ツ之ヲ増大セシメタノデア
ル。併シ世界ヲ征服シ了リタル後ハ、羅馬ノ社
會ノ環境征服過程ハ完結シ、開放的組織ハ封鎖
的組織ニ轉ジ而シテ人口ハ減少シタノデア
ル。

露西亞ハ其ノ經濟的大變動ノ時代マデハ羅馬
ト同様ナル狀態ニアツタ。即チ人口ノ大ニ増加
スル主トシテ農業的ナル經濟的社會デアツタ。
露西亞ハ、其ノ増加スル人口ニ對シテ、生活資
料及ビ富ノ増進ノ必要ヲ充分ニ充足シ得ルニ
ハ、其工業化ガアマリニ遲々タルヲ感ジ、其ノ
生産領域ノ擴張ヲ考ヘザルヲ得ナカツタ。此ク
テ其ノ東方政策ハ遂ニ日露戰爭ヲ惹起シ、而シ
テ其ノ歐洲政策ハ常ニ土耳其ヲ威嚇スルコトト
ナツタ。夫レヨリシテ又其ノばるかん政策ハ立
テラレ、而シテ茲ニ澳大利トノ衝突ガ育マレテ
來タノデア
ル、露西亞ハ政治上及ビ外交上ノ事
情ニ妨ゲラレテばるかん併呑策ヲ實現スルコト
ハ出來ナカツタガ、併シばるかんヲ併呑セント
スルガ其ノモトノ動機デアツタコトハ疑ハレナ
イ。而シテべるりん會議ニ於テ、獨逸ガ千八百七

十七年ノ土耳其戰爭ヨリ露西亞ノ豫期セシ結果
ノ追求收得ヲ妨ゲ、心潜カニ同盟ヲ望ンデ居ッ
タ澳大利ニ媚ヲ呈シテ以來、露西亞ト獨逸トノ
間ニ強キ反感ガ起ツテ來タ。而シテ露西亞ハ佛
蘭西ニ秋波ヲ送ツタノデア
ル。

此ノ露西亞對獨逸關係ノ緊張ハべるりん會議
後持續シ、千八百七十九年ビすまーカ露西亞
ヲ日常ニ澳大利ト同盟ヲ締結セシ時ニ大ニ強マ
リ、而シテ汎すらが主義ノ偏局ナル愛國の傾向
ト同ジク偏局的ナル汎ぢやーまん主義ノ愛國の
傾向トノ衝突ニヨリテ愈々猛烈トナツタ。併シ
此ノ緊張此ノ民族主義的傾向ノ衝突ニ係ラズ、
露西亞ハ今日歐洲均衡ノ破壞ヲ企ツル狀態ニア
ラザリシコト隨フテ目下ノ大戰爭ヲ希望シテ居
ラナカツタコトハ明ラカデア
ル。澳大利對塞爾
維問題ニ於テモ露西亞ハ寧ロ塞爾維ヲシテ澳太
利ノ要求ニ屈服セシメントスル意向ヲ有ツテ居
ツタコトハ疑ハレナイ。サレバ今回ノ大戰爭ヲ
希望セルモノハ露西亞デハナクシテ獨逸デア
ルコトハ明ラカデア
ル。是レ今日世界ノ輿論ノ認

ムル處デアル。是ニ於テカ余輩ハ均衡ノ維持サレ難クナツタ理由ヲ獨逸ノ組織ニ於テ探究セシバナラナイノデアル。而シテ其ノ尤トモ根本的ナル原因ハ簡單デアル。是レ即チ獨逸ガ人口ノ増加ニ對シテ反動ヲ起セル其反動ノ過度ニ強烈ナルコトデアル、即チ征服的反動ノ過大ト云フトデアル。la esagerazione della razione sup-
critica 獨逸ハ帝國ノ建設ニ導ケル國民的政策ノ宏大ナル結果ヲ十分ニ收得セントスル念ニ驅ラレテ熱狂的ニ猛烈ニ活動シ、アラユル機關ヲ過度ニ運轉セシメタ。此クテ其ノ國民的政策ヲ大陸的政策ニ更ニ大陸的政策ヲ世界的政策ニ轉化セシムルコトトナツタ。而シテ獨逸ノ政策ノ此轉化ハ、其活動ガ若シ他國民ノ活動範圍ニ侵入シ全然自己ノ利益ノ爲メニ他國民ノ運動ヲ攪亂スルコトナカランニハ、何等非難ス可キ點ヲ有ツテ居ラナイ。獨逸ノ世界的政策ノ發達ハ、其ノ國民的政策ノ擴張或ハ延長トシテ、若シ其ガ世界の進動ノ他ノ部分ト共存シ得ルモノナラバ、吾人ハ之レニ對シテ何等非難ヲ加フ可キ理由ヲ

見出サナイノデアル。然ルニ、獨逸ノ世界的政策ハ、假令無意識デアルニセヨ、其ノ最後ノ結果ニ於テハ世界的進動ヲ自己ニ吸收スルヲ目的トスルモノトナツテ居ル。是レ余輩ハ獨逸ノ征服的反動ノ過大ヲ云フ所以デアル。而シテ是レガ即チ均衡ノ錯行ヲ避ク可カラザラシメタ原因デアル。

今獨逸ノ征服的反動ノ過大ハ殊ニ二ヶノ領域ニ於テ著シク現ハレテ居ル。一ハ經濟的領域ニ於テデアツテ、二ハ政治的軍事的領域ニ於テデアアル。

經濟的領域ニ於テハ獨逸ノ活動ハ漸次ニ諸國民相互ノ利益ヲ實現スル平和的交叉ノ境ヲ越ヘテ、只自己ノ利益ヲ圖ル征服侵略ノ域ニ進ンデ來タ。吾人ハ伊太利ニ於テ、佛蘭西ニ於テ、露西亞ニ於テ、白耳義ニ於テ、れがあんでニ於テ、世界ノ總テノ部分ニ於テ獨逸人ノ「經濟的扭ヂ廻ハシ」"avvolgimento economico"ヲ見ルノデアル。併シ此ノ「扭ヂ廻ハシ」ハ殊ニ露西亞ニ對シテ猛烈デアツタ。此ハモト純人口の扭ヂ廻ハシ

トシテ始マツタノデアルガ、露西亞ノ政府ガ之ヲ防遏スル手段ヲトルニ及ンデ經濟的扭テ廻ハシニ轉化シタノデアアル。而シテ獨逸人ハ種々ナル手段ニヨツテ實際上露西亞ノ國民經濟ヲ左右スルコトトナツタ。佛蘭西ノ國民經濟ハ其ノ發達ノ大ナルガ爲メ、又ハ資本ノ豊富ナルガ爲メ、獨逸ノ侵入ヲアマリ強ク感ジナカッタガ、露西亞ハ之レニ苦メラレルコト實ニ甚大デアツタ。此クテ獨逸人ニ對スル露西亞人ノ反感ハ愈々強マツタノデアアル。併シ之レト同時ニ獨逸ハ經濟上到底堪ヘ難キ立場ニ陥リツツアツタノデアアル獨逸ハ其ノ増加スル人口ノ生存ト致富ニ備ヘント焦慮スル結果、極端ナル保護貿易主義ノ如キ國民的政策ト世界的政策トノ間ニ矛盾ヲ生ズル種々ナル人爲的手段ニ訴ヘ、又アマリニ廣大ニシテ且ツ其ノ財政的狀態ニ釣り合ハザル活動計畫ヲ立ツルニ至ツタ。夫レヨリシテ到底堪ヘ得ラレナイ立場ニ陥リ、之レヨリ脱レントスル念ガ不知不識ニ發生シテ來タノデアアル。即チ均衡ノ破壊ヲ希望スル念ガ自カラ發生シテ來タノデ

アル。

獨逸ノ征服的反動過大ノ第二ノ方面ハ政治的軍事的デアツタ。人口ノ増加ニ依屬スル工業的發達ノ結果トシテ獨逸ニ於テ世界的經濟政策ノ發達シ來レルコトハ、又自カラ世界ノ平和ニ對シテ甚ダ危險ナル陸軍政策及ビ海軍政策ヲ誘致シタノデアアル。獨逸政策ノ指揮者フボロン、びゅーろーハ其ノ著「帝國の獨逸」ニ於テ左ノ如ク云フテ居ルガ、是レ獨逸ニ於ケル武力主義的現象ト人口現象トノ關係ヲ明白ニ説明スルモノデアアル。

此ノ宏大ナル人口ハ以前ノ如ク帝國ノ領域内ニ於テ養ヘルルコトハ出來ナイ。人口ノ増加ハ獨逸ノ經濟生活ニ對シテ、故ニ又其ノ政治生活ニ對シテ尤トモ重要ナル問題ヲ押シツケテ居ルノデアアル……陸軍ノ外ニ、國民的勞働及ビ其果實ヲ保證スル強大ナル海軍力必要トナツタ。……吾人ハ實ニ幾百億ノ價格、隨フテ吾人ノ同胞ノ幾千百萬ノ安寧幸福ヲ海洋ニ依托シテ居ル。吾人若シ適當ノ時期ニ於テ、此ノ貴重ナル又必要缺ク可カラザル國民的所有ヲヨク保護スル方策ヲ考ヘナイナラバ何時之ヲ失ナフ危險ニ遭遇スルカモ知レナイ。而シテカカル危險ノ起ル場合ニハ、吾人ハ經濟上又政治上勤勉ナル國家ノ安易ナル生存ニ立チ歸ヘフナイデアラウ。否ナ之レニ反シテ吾人ハ母國ニ於テ我が國民ノ大部分、幾千百萬人ノ同胞ニばんト勞働トナ與ヘ

ルコトノ出來ナイ狀態ニ陥ルデアラウ。而シテ經濟の一大恐慌が起リ又其ノ恐慌ハ國民の大災害ノ形ナトルデアラウ。

余輩ハ右ノ言葉ノ中ニ獨逸ノ政治家ノ一般ニ抱テ居ル一種ノ鬼胎ヲ見ルノデアアル。即チ年々生ルル總テノ人々ヲ養フコトガ出來ナイ時ガクルカモ知レナイ、總テノ人々ヲ母國ノ地ニ於テ保持スルニ充分ナルばんト勞動トカ得ラレナイ時ガクルカモ知レナイト云フ念デアアル。而シテ此ノ心配ニ於テ獨逸ハ適度ヲ失フテ盲進シタノデアアル。單ニ獨逸ノ繁榮ヲ確保スルダケデハ充分デナイ、獨逸ハ總テノ上ニ立チ總テヲ支配セテバナラヌト考ヘルニ至ツタノデアアル。

要スルニ獨逸ハ激烈ナル又神秘的ナル民族主義ニ凝結セル其ノ征服的のねるぎ一ノ猛烈ナル發動ニ於テ、只己レ自身ノミヲ見テ、世界ヲ忘レタノデアアル。而シテ其ノ幾何學的論理ニ從ガヒ、若シ世界ガ獨逸ノ指揮、指導ニ從フヲ欲セザル傾向ヲ呈スルナラバ、カカル世界ハ破壊セテバナラヌト考フルニ至ツタノデアアル。

以上述べシコトハサキニ論述セル律動法則ニ

雜報

矛盾シナイノミナラズ、更ニ之ヲ尤トモ確實ニ證明スルモノデアアル。今一ノ國民社會ノ經濟ノ有益ナル活動ガ、單ニ防禦的ニ止マラズシテ侵略的トナレル武力主義ノ如キ外部の因素ヤ、又ハ極端ナル保護貿易主義ノ如キ人爲の手段ニヨリテ、攪亂サルル時ニハ、征服的のねるぎ一ノ波ハ大ニ膨脹シ、又大ニ高マツテ過度ノ錯行ヲ起スニ至ルノデアアル。而シテ其場合ニハ其ノ律動ハ最早他ノ國民社會ノ同様ナル律動ノ展開ト調和的ニ展開シナクナル。サレド人類ハ幾多ノ國民ヨリ成立スルモノデアアルカラ、各國民ニ於ケル人口ト生産トノ間ノ動反動ノ律動ハ周圍ノ條件即チ他ノ諸國民ニ於ケル同様ナル律動ト調和的ニ展開シテ行クコトガ必要デアアルノデアアル而シテ此ノ相互調和的ナル展開ノ行ハルルニハ先ヅ第一ニ攪亂的及ビ人爲的要素ガ除ハセラレ又絕對的誠實及ビ國際法ノ絕對的尊敬ノ原則、即チ各國民ノ正義ノ外ニ人類共通ノ正義ガアルト云フ原則ガ勝利ヲ得ルコトガ必要デアアル。只カカル場合ニ於テノミ、カノ一切ノ生命ノ法則

第一卷 (第六號 一三三) 七六五

雜報

タル征服ノ法則ニヨリテ宿命的ニ決定サルル富
ノ獲得ガ、國民道德ノ原則ト人類道德ノ原則ト
ノ調和ノ下ニ於テ、正當ニ行ハサレルコトガ出
來ルデアラウト信ズル。(完)